

## 中学3年 単元名「海と人の関わりを捉え直す①」（6時間）

### 1 単元設定の理由

- ・ 中学2年までの学びをふまえたうえで、海洋に関する存在論的な学びを深めさせる。  
このような学びをへて、人間の生活と海洋（自然環境）の関係の捉え直しをさせる。
- ・ 海との関わりを通して生徒が自分自身の生き方を捉え直す。

### 2 単元目標

- ・ 月や深海乱流と深層海流循環の関係など海洋力学に関する問題を知ること、海洋に関する学問的関心や海洋と人間の関係についての興味関心を高める。
- ・ 上記の興味関心をさらなる探究活動に促す。
- ・ 海での遠泳実習を通じて、ヨット帆走とは異なる側面から海を体感し、人間にとっての海洋のあり方を考察する。

### 3 単元の評価基準

- ・ 講義にもとづくレポート作成による自己評価
- ・ ヨット帆走実習に関するレポート作成による自己評価
- ・ 遠泳実習に関するレポート作成による自己評価

### 4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	海洋学特別講義 「月が導く深海の流れ・地球を巡る深層海流の謎への挑戦」 (東京大学海洋アライアンス 日比谷紀之 先生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑問点や興味を持ったこと、わかったことなどをメモするように指導する。</li> <li>・ 疑問点は講義会場で講演者の先生に直接質問するよう促す。</li> </ul>
2	海洋学特別講義に関するレポート作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メモにもとづき、講義から学んだこと、興味を持ったことなどを整理したうえで文章化するように指導する。</li> </ul>
3	海での遠泳実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海上での自分の位置を把握できるように隊列を崩さないよう指導する。</li> </ul>
4	海での水泳授業・遠泳実習に関するレポート作成～泳ぐ人にとって海はどのような存在なのか～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヨット帆走時とは異なる海の様相、初めて海に出た海授業時と遠泳実習時の経験の違いなどに留意させる。</li> </ul>

#### 外部連携 / 教材等

海洋学特別講義は、講義内容や講師に関して、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの連携のうえで、実施するものである。